

今夏、**大阪中之島美術館**で初となる、**民藝をテーマにした展覧会**開催決定！

民藝について「衣・食・住」をテーマに、約150件を展示

『民藝 MINGEI－美は暮らしのなかにある』開催

2023年7月8日（土）～9月18日（月・祝）

大阪中之島美術館（大阪市北区中之島4丁目3-1）

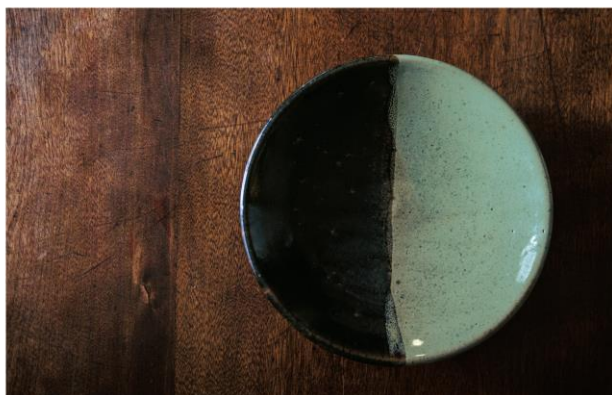
大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区/館長：菅谷 富夫）は、開館後初めてとなる「民藝」をテーマにした企画展『民藝 MINGEI－美は暮らしのなかにある』を、2023年7月8日（土）～9月18日（月・祝）の期間、開催いたします。

約100年前に思想家・柳宗悦が説いた民衆的工藝、「民藝」。日々の生活のなかにある美を慈しみ、素材や作り手に思いを寄せる、この「民藝」のコンセプトはいま改めて必要とされ、私たちの暮らしに身近なものとなりつつあります。本展では、**民藝について「衣・食・住」をテーマにひも解き、暮らしで用いられてきた美しい民藝の品々約150件を展示**します。概要は次ページの通りです。

MIN GEI

民 藝

美は
暮らしの
なか
にある



イメージビジュアル

《報道関係者お問い合わせ先》

『民藝 MINGEI－美は暮らしのなかにある』広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-mail：mingei@tm-office.co.jp

「民藝 MINGEI－美は暮らしのなかにある」公式サイト

URL <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>



◀アクセス
QRコード

企画趣旨

日々の暮らしで使う手仕事の品に「美」を見出した「民藝」は、1920年代に柳宗悦を中心に提唱されました。それから約100年経った今、「民藝」は私たちの生活に身近なものとして再認識され、注目を集めています。本展覧会では、日本民藝館の所蔵作品を中心に美しい民藝の品々約150件を展示。また、いまに続く民藝の産地を訪ね、そこで働く作り手と、受け継がれている手仕事の品々も紹介します。

さらに、昨夏までセレクトショップ BEAMS のディレクターとして長く活躍し、現在の民藝ブームに大きな役割を果たしてきたテリー・エリス／北村恵子（MOGI Folk Art ディレクター）による、現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションも見どころのひとつです。

柳が説いた生活のなかの美、民藝とは何か、そのひろがりと今、そしてこれからを展望する展覧会です。



（左2点）緑黒釉掛分皿 因幡牛ノ戸 1931 年頃／
（右）蠟石製薬煎 朝鮮半島 朝鮮時代 19 世紀
日本民藝館蔵



MOGI Folk Art ディレクターのテリー・エリスと北村恵子
いずれもPhoto:Yuki Ogawa

開催概要

展覧会名：民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある

会 期：2023年7月8日（土）～9月18日（月・祝）

休 館 日：月曜日 ※ただし、7月17日（月・祝）および9月18日（月・祝）は開館、
7月18日（火）は休館

開場時間：10：00～17：00（入場は16：30まで）

会 場：大阪中之島美術館 4階展示室（大阪市北区中之島4丁目3-1）

観 覧 料：一般 1,700円（団体 1,500円） 高大生 1,300円（団体 1,000円）

※中学生以下は無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

公式サイト：<https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>

問い合わせ：大阪市総合コールセンター [TEL:06-4301-7285](tel:06-4301-7285)（受付時間 8:00～21:00 年中無休）

主 催：大阪中之島美術館、朝日新聞社、東映

特別協力：日本民藝館

《報道関係者お問い合わせ先》

『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-mail：mingei@tm-office.co.jp

「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」公式サイト

URL <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>



◀アクセス
QRコード

主な展示予定作品



蓑 岩代檜枝岐 1930年代



スリッウェア角皿 イギリス 18世紀後半-19世紀後半 *



緑黒釉掛分皿 因幡牛ノ戸 1931年頃 *



裂織丹前 越前 江戸～明治時代 19世紀 *



(手前) 塗分盆 江戸時代 18世紀 / (盆上左から) 染付羊歯文湯呑、染付蝙蝠文湯呑、染付雨降文猪口 肥前有田 江戸時代 18-19世紀 *



(左から) 角酒瓶 小谷眞三 倉敷 1979年 / 酒瓶 小谷眞三 倉敷 1985年頃 / 栓付瓶 メキシコ 20世紀中頃 *

上6点いずれも日本民藝館蔵 *印はPhoto:Yuki Ogawa



1941年に日本民藝館(東京・目黒)で開催された「生活展」の様子
柳宗悦はここで、暮らしのなかで民藝の品々を活かす手法を提示しました。
本展冒頭では、実際に出品された作品を中心に、「生活展」の再現を試みて、柳が説いた暮らしの美を紹介します。

《報道関係者お問い合わせ先》

『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』広報事務局 (TMオフィス内) 担当: 馬場・永井・西坂
TEL: 06-6231-4426 FAX: 06-6231-4440 E-mail: mingei@tm-office.co.jp

「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」公式サイト
URL <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>



◀アクセス
QRコード